

◆湯梨浜町まちづくりアンケート調査結果【地域別】◆

1(1).性別

	羽合地区	東郷地区	泊地区	未回答	合計
男性	161	101	47	0	309
女性	181	120	55	1	357
その他	0	0	0	0	0
未回答	3	3	2	6	14
合計	345	224	104	7	680

(2).年齢

	羽合地区	東郷地区	泊地区	未回答	合計
10代	18	8	5	0	31
20代	33	16	9	0	58
30代	44	19	9	0	72
40代	44	23	13	1	81
50代	46	30	14	0	90
60代	61	45	19	0	125
70代	67	46	17	0	130
80代	32	36	18	0	86
未回答	0	1	0	6	7
合計	345	224	104	7	680

(3).世帯構成

	羽合地区	東郷地区	泊地区	未回答	合計
単身世帯	32	19	5	0	56
夫婦のみ	84	42	16	0	142
二世帯	159	93	50	1	303
三世帯	54	57	29	0	140
その他	8	8	2	0	18
未回答	8	5	2	6	21
合計	345	224	104	7	680

(4).家族構成

*複数回答可

	羽合地区	東郷地区	泊地区	未回答	合計
未就学児	48	19	14	0	81
小学生	34	27	11	0	72
中学生	26	20	10	0	56
高校生	35	14	20	1	70
大学生・専門学生	34	18	16	1	69
学生以外の18～64歳までの成人	211	139	69	0	419
65歳以上	156	136	56	0	348

(5).職業

	羽合地区	東郷地区	泊地区	未回答	合計
農林水産業	12	25	5	0	42
農林水産業以外の自営・自由業	16	10	4	0	30
正規雇用	121	58	34	1	214
非正規雇用	50	30	13	0	93
家事専業	23	22	10	0	55
学生	20	9	6	0	35
無職	85	62	28	0	175
その他	12	7	3	0	22
未回答	6	1	1	6	14
合計	345	224	104	7	680

(6)居住地

	人数
羽合地区	345
東郷地区	224
泊地区	104
未回答	7
合計	680

(7)居住歴

	羽合地区	東郷地区	泊地区	未回答	合計
1.ずっと湯梨浜町	112	100	51	1	264
2.Uターンしてきた	62	45	14	0	121
3.転入(県内)	126	54	30	0	210
4.転入(県外)	26	18	6	0	50
5.県外→県内の他 市町村→湯梨浜町	13	6	3	0	22
未回答	5	1	0	6	12
その他	1	0	0	0	1
合計	345	224	104	7	680

2.湯梨浜町は住みやすいと思うか。

	羽合地区	東郷地区	泊地区	未回答	合計
1.住みやすい	157	91	35	4	287
2.どちらかといえば住 みやすい	141	84	39	0	264
3.どちらともいえない	31	34	16	1	82
4.どちらかといえば 住みにくい	11	12	9	1	33
5.住みにくい	2	1	4	0	7
未回答	3	2	1	1	7
合計	345	224	104	7	680

【考察】

アンケート全体の回答率が高い順は「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」「どちらともいえない」であった。
羽合地区、東郷地区は「住みやすい」の回答率が1番高く、泊地区は「どちらかといえば住みやすい」の回答率が1番高かった。

2.(1) 住みやすいと思う理由

*3つまで回答可

	羽合地区	東郷地区	泊地区	合計
1 住み慣れた土地で愛着がある	155	118	49	322
2 親戚や友人などの知人がおり相談できる人がいる	80	63	32	175
3 地域の人とのつながりやコミュニティがいい	44	44	21	109
4 自然環境に恵まれている	169	116	51	336
5 通勤、通学、通院など交通の便がよい	68	23	8	99
6 日常の買い物などに便利	167	27	3	197
7 医療、福祉サービスが充実	20	15	8	43
8 保育、子育て環境に恵まれている	49	24	9	82
9 子どもの教育環境がよい	14	12	5	31
10 公共施設が充実	13	9	4	26
11 消防、防犯、防災体制がしっかりしている	11	6	1	18
12 その他、自由記載	6	1	2	9
合計	796	458	193	1447

【考察】

アンケート全体の回答率が高い順は「自然に恵まれている」「愛着がある」「日常の買い物などに便利」であった。
羽合地区、泊地区は「自然に恵まれている」の回答率が1番高く、東郷地区は「愛着がある」の回答率が1番高かった。
羽合地区は東郷地区、泊地区と比較して「日常の買い物などに便利」と回答した方が多かった。

2.(2) 住みにくいと思う理由

*3つまで回答可

	羽合地区	東郷地区	泊地区	合計
1 愛着が持てない	3	3	1	7
2 相談できる人がいない	1	1	0	2
3 地域の人とのつながりやコミュニティがない	2	4	1	7
4 自然環境に恵まれていない	1	1	0	2
5 道路事情や交通の便が悪い	3	10	9	22
6 日常の買い物不便	6	11	13	30
7 医療、福祉サービスが充実していない	2	4	4	10
8 保育、子育て環境が悪い	1	0	1	2
9 子どもの教育環境が悪い	1	0	0	1
10 公共施設が充実していない	3	1	5	9
11 消防、防犯、防災体制が不十分	1	1	0	2
12 その他 自由記載	5	0	3	8
合計	29	36	37	102

【考察】

アンケート全体の回答率が高い順は「日常の買い物不便」「交通の便が悪い」「医療が充実していない」であった。全地区で「日常の買い物不便」の回答率が1番高かった。

3.湯梨浜町の人口減少が進行していった場合に生じる社会への影響について、不安に考えるものは何か。 *2つまで回答可

	羽合地区	東郷地区	泊地区	合計
1. 国や地方が税収減となり、行政サービスが低下する	90	56	26	172
2. 年金の減額、社会保険料や医療費の増額など社会保障に係る個人の負担増	163	94	39	296
3. 若者など地域を支える担い手(働き手)の不足	137	93	48	278
4. 地域コミュニティ活動の縮小	23	11	3	37
5. 人口減少の進行による土地の荒廃	75	73	30	178
6. 労働力人口の減少などによる地域産業の衰退	64	41	20	125
7. 人口減少による消費減などで、商店街などのにぎわいの低下	46	34	16	96
8. 地域の伝統や文化の衰退	24	9	12	45
9. スポーツ、文化、娯楽などの余暇を楽しむ機会の減少	6	2	2	10
10. ゆったり生活できる(スローライフ)	13	8	1	22
11. それほど影響はない	19	7	2	28
12. その他	1	6	0	7
合計	661	434	199	1294

【考察】

アンケート全体の回答率が高い順は「社会保障にかかる個人の負担増」「担い手の不足」「土地の荒廃」であった。羽合地区、東郷地区では「社会保障にかかる個人の負担増」、泊地区では「担い手の不足」と回答した方が1番多かった。

4.湯梨浜町が取り組むべきことは何か。

*2つまで回答可

	羽合地区	東郷地区	泊地区	合計
1. 子育て支援や仕事と家庭の両立(ワーク・ライフ・バランス等)の充実により、結婚・出産・子育ての希望をかなえる取組	160	86	47	293
2. 地域を担う子どもの教育環境の充実とふるさと湯梨浜町を愛する気持ちを育てる取組	71	42	24	137
3. 産業を振興し、雇用を拡大させて、経済を活性化させる取組	119	83	34	236
4. 人を呼び込み、居住・定住を促進する取組	66	56	19	141
5. 地域の特性を活かした魅力づくりや地域づくり(コミュニティづくり)など、人口減少社会の中でもいきいきと安心して暮らせる地域を目指す取組	103	64	34	201
6. 介護や認知症予防など、高齢者への施策を充実し安心して暮らせる地域を目指す取組	82	52	23	157
7. 恵まれた自然の一層の保全に努める取組	29	27	9	65
8 その他自由記載	8	5	2	15
合 計	638	415	192	1245

【考察】

アンケート全体の回答率が高い順は「ワークライフバランス」「経済の活性化」「安心して暮らせるまちづくり」であった。全地区で「ワークライフバランス」と回答した方が1番多かった。

5.生活している中で、最も楽しいと感じることは何か。

*2つまで回答可

	羽合地区	東郷地区	泊地区	合計
1 家族が仲良く健康でいられること	226	157	69	452
2 働くこと	44	26	11	81
3 子どもの成長	64	30	14	108
4 趣味、スポーツ活動	83	32	25	140
5 地域、ボランティア活動	7	7	5	19
6 勉強、学習活動	3	1	2	6
7 友達との交友	50	42	20	112
8 旅行	32	22	4	58
9 平和で穏やかな日々	130	88	42	260
10 その他自由記載	7	5	0	12
合計	646	410	192	1248

【考察】

アンケート全体の回答率が高い順は「家族の幸せ」「平和で穏やかな日々」「趣味・スポーツ」であった。全地区で「家族の幸せ」と回答した方が1番多かった。

6.子育て環境を充実させるために、どのような取り組みが必要か。*3つまで回答可

	羽合地区	東郷地区	泊地区	合計
1. 若い世代の雇用確保などによる経済的安定	195	118	61	374
2. 育児休業の所得や復職・再就職の支援など、妊娠・出産しても安心して働き続けられる職場環境の整備	166	106	44	316
3. 妊娠・出産・子育てに関する相談・学習・交流の場の充実	32	25	10	67
4. 子育て関係団体・ボランティアのネットワーク化	17	10	6	33
5. 公園の整備など子どもの遊び場の確保	75	35	16	126
6. 乳幼児健診・健康相談・健康教育の充実	27	9	7	43
7. 保育料の軽減や進学のための奨学金制度の充実などによる子育て・教育における経済的な支援	152	89	44	285
8. 病児・病後児保育や一時・休日保育、放課後児童クラブ等の保育環境の充実	75	61	21	157
9. きめ細やかな教育ができる少人数学級などによる教育環境の整備	42	37	15	94
10. 教育相談員やスクールカウンセラーの配置	21	5	7	33
11. 学校の学習活動などへのボランティア活動の積極的な活用	13	8	5	26
12. 生命の大切さや家庭の大切さといった価値観の醸成	69	51	23	143
13 その他	7	4	5	16
合計	891	558	264	1713

【考察】

アンケート全体の回答率が高い順は「経済的安定」「職場環境の整備」「子育て・教育における経済的支援」であった。全地区で「経済的安定」と回答した方が1番多かった。

7.生涯学習活動・文化活動をより活発にしていくためには、どのようなことが必要か。

*2つまで回答可

	羽合地区	東郷地区	泊地区	合計
1 指導者や相談体制の充実	110	54	38	202
2 各種講座や催し物の内容および情報提供の充実	110	73	31	214
3 文化施設など活動の場の整備充実	63	32	12	107
4 史跡等の保存や伝統文化の後継者育成	49	32	17	98
5 音楽・美術等の鑑賞機会の充実	54	35	11	100
6 学習・文化団体への支援及び発表機会の充実	28	10	5	43
7 文化イベントの企画・開催	52	35	16	103
8 生涯活動の拠点である中央公民館活動の充実	27	30	17	74
9 地域の生涯学習の拠点である自治公民館活動の充実	34	28	7	69
10 図書館機能の充実(利用者のニーズや時代に即した図書及び資料の充実)	50	30	15	95
11 県や大学等の専門機関との連携強化	40	30	9	79
12 その他 自由記載	6	7	3	16
合計	623	396	181	1200

【考察】

アンケート全体の回答率が高い順は「情報提供の充実」「相談体制の充実」「活動の場の充実」であった。
羽合地区では「相談体制の充実」「情報提供の充実」、東郷地区では「情報提供の充実」、泊地区では「相談体制の充実」と回答した方が1番多かった。

8.スポーツ活動をより活発にしていくためには、どのような取り組みが必要か。

*2つまで回答可

	羽合地区	東郷地区	泊地区	合計
1 指導者や指導体制の充実	101	58	31	190
2 各種講座や催し物の情報提供の充実	70	53	21	144
3 各種講座や催し物の内容充実	55	36	8	99
4 スポーツ施設など活動の場の整備充実	131	72	41	244
5 スポーツ団体への支援	46	34	18	98
6 スポーツイベントの企画・開催	101	65	29	195
7 地域スポーツクラブの育成	81	55	23	159
8 県や大学等との専門機関との連携強化	19	10	6	35
9 その他自由記載	7	8	2	17
合計	611	391	179	1181

【考察】

アンケート全体の回答率が高い順は「活動の場の整備充実」「スポーツイベントの企画・開催」「指導者や相談体制の充実」であった。全地区で「活動の場の整備」と回答した方が1番多かった。

9.文化財を気軽に親しむために、どのようなことを望むか。

*2つまで回答可

	羽合地区	東郷地区	泊地区	合計
1. 公民館や資料館での展示や催しの充実	89	56	36	181
2. 文化財を学習できる機会の充実	118	82	35	235
3. 民俗芸能や祭などが見学できる機会の充実	79	47	23	149
4 インターネットでの積極的な情報提供	95	48	20	163
5 ガイドブックやパンフレットの配布	62	42	16	120
6 文化財の開設などを記載した案内板の充実	61	34	17	112
7 発掘された遺跡の公開	39	21	6	66
8 遺跡公園などの整備	42	33	13	88
9 その他自由記載	6	9	4	19
合計	591	372	170	1133

【考察】

アンケート全体の回答率が高い順は「学習機会の充実」「展示や催し物の充実」「インターネットでの積極的な情報提供」であった。羽合地区、東郷地区では「学習機会の充実」、泊地区では「展示や催し物の充実」と回答した方が1番多かった。

10.自然と親しむために、どのような取り組みを望むか。 *2つまで回答可

	羽合地区	東郷地区	泊地区	合計
1 自然景観を保護する政策の推進	130	84	42	256
2 自然の中で行う各種講座・教室の開催	124	77	32	233
3 自然の中で行うスポーツイベントの開催	99	56	28	183
4 インターネットでの積極的な情報提供	55	31	14	100
5 自然環境保護団体への活動支援	66	47	9	122
6 小中学生への環境学習推進	125	77	40	242
7 その他自由記載	4	5	5	14
合計	603	377	170	1150

【考察】

アンケート全体の回答率が高い順は「景観を保護する施策の推進」「小中学生への環境学習推進」「自然の中で行う講座・教室の開催」であった。全地区で「景観を保護する施策の推進」と回答した方が1番多かった。

11.人権問題を解決するためにどのような取り組みが必要か。

*2つまで回答可

	羽合地区	東郷地区	泊地区	合計
1. 人権に関する意識を向上するための啓発、研修を充実させる	130	78	38	246
2. 学校や職場での人権学習を充実させる	140	98	47	285
3. 社会における不合理な格差を解消するための施策を充実させる	116	82	30	228
4. 人権侵害を受けた人や社会的に弱い立場にある人を支援・救済していく	82	50	24	156
5. 人権侵害を行った人などに対し法的な規制を行う	51	39	11	101
6. NPO(民間団体)や企業に対して必要な支援を行う	36	13	6	55
7. 現状の社会で十分に人権は尊重されており、新たな取り組みは不要である	20	11	6	37
8. その他	11	8	3	22
合計	586	379	165	1130

【考察】

アンケート全体の回答率が高い順は「人権学習の充実」「啓発・研修の充実」「不合理な格差解消の施策の充実」であった。全地区で「人権学習の充実」と回答した方が1番多かった。

12.農業振興について、どのような取り組みが必要か。*2つまで回答可

	羽合地区	東郷地区	泊地区	合計
1. 農地や農道、用・排水施設など生産基盤の充実	51	35	15	101
2. 農作業受・委託などによる経営規模の拡大	53	34	6	93
3. 農業生産グループ育成の強化	38	40	14	92
4. 担い手や後継者の育成	189	101	65	355
5. 6次産業化(農業の事業者が食品加工、流通販売にも総合的に業務展開すること)への取り組み	48	29	11	88
6. 先端農業技術などの積極的導入に対する支援	43	16	12	71
7. 市場拡大のための特産品のPR及び販路拡大	30	28	8	66
8. 低農薬など環境にやさしい農業の振興	32	21	4	57
9. 地元生産物を地元で消費する地産地消の促進	50	39	20	109
10. 荒廃地減少のための取組	83	53	20	156
11. 県内農業専門機関との連携強化	9	7	4	20
12 その他	4	6	5	15
合計	630	409	184	1223

【考察】

アンケート全体の回答率が高い順は「担い手や後継者育成」「荒廃地減少のための取組」「地産地消の促進」であった。

全地区で「担い手や後継者育成」と回答した方が1番多かった。

13.水産業振興について、どのような取り組みが必要か。*2つまで回答可

	羽合地区	東郷地区	泊地区	合計
1. 東郷池の清掃活動や羽合・泊漁港区域内の環境保全活動	122	82	28	232
2. 老朽化した基盤施設の機能保全整備	55	30	11	96
3. 魚介類の資源を保護するための、稚魚・稚貝の放流等の推進	96	66	27	189
4. 新規漁業者や漁業後継者の育成	120	57	51	228
5. 地元生産物を地元で消費する地産地消の促進	87	63	30	180
6. 市場拡大のための特産品のPR	63	41	20	124
7. 現状のままでよい	34	16	10	60
8. 大学、研究機関等との連携強化	16	11	2	29
9. その他	6	5	3	14
合計	599	371	182	1152

【考察】

アンケート全体の回答率が高い順は「東郷池の清掃活動や羽合・泊漁港区域内の環境保全活動」「新規漁業者や漁業後継者育成」「魚介類の資源を保護するための稚魚・稚貝の放流等の推進」であった。

羽合地区、東郷地区では「東郷池の清掃活動や羽合・泊漁港区域内の環境保全活動」、泊地区では「新規漁業者や漁業後継者育成」と回答した方が1番多かった。

14.商業振興について、今後どのような取り組みが必要か*2つまで回答可

	羽合地区	東郷地区	泊地区	合計
1. 既存商店の活性化を進める	78	54	36	168
2. 小規模店の共同店舗化等による新たな商業核づくり	88	54	37	179
3. 新しい商業施設の誘致	62	44	15	121
4. 大型商業施設の誘致	58	28	14	100
5. キャンペーンの実施や販売促進対策の充実	62	49	20	131
6. 多くの人が集まる観光施設の整備	90	67	22	179
7. 商業経営の近代化支援の充実	37	25	12	74
8. 新商品や新サービスなどの開発支援	66	41	13	120
9. 現状のままでよい	22	11	2	35
10 その他	5	8	3	16
合計	568	381	174	1123

【考察】

アンケート全体の回答率が高い順は「小規模店の共同店舗化等による新たな商業核づくり」「多くの人が集まる観光施設の整備」「既存商店街の活性化を進める」であった。
羽合地区、東郷地区では「多くの人が集まる観光施設の整備」、泊地区では「小規模店の共同店舗化等による新たな商業核づくり」と回答した方が1番多かった。

15.工業振興について、今後どのような取り組みが必要か。

*2つまで回答可

	羽合地区	東郷地区	泊地区	合計
1 優良企業の誘致	109	77	31	217
2 多様な業種の企業誘致	139	90	46	275
3 既存企業の育成振興	84	47	32	163
4 起業家への支援や新産業の開発	104	68	25	197
5 工場の集約	20	17	9	46
6 工業用地の確保・企業誘致は反対	29	19	5	53
7 現状のままでいい	43	15	7	65
8 その他自由記載	4	4	0	8
合計	532	337	155	1024

【考察】

アンケート全体の回答率が高い順は「多様な業種の企業誘致」「優良企業の誘致」「起業家への支援や新産業の開発」であった。
全地区で「多様な業種の企業誘致」と回答した方が1番多かった。

16.観光資源を有効利用するためには、何に重点を置くべきか。

*2つまで回答可

	羽合地区	東郷地区	泊地区	合計
1 グリーンツーリズム、ワーケーションの推進	81	39	24	144
2 町民が観光事業に参加できる仕組みづくり	33	21	11	65
3 歴史や文化資源の活用	50	33	12	95
4 癒し効果のある施設の充実	111	60	29	200
5 ウォーキングコース等の環境整備	103	76	20	199
6 観光ルートの設定	77	48	20	145
7 イベントや祭りの充実	62	44	27	133
8 魅力ある特産品の開発	70	44	25	139
9 観光情報の積極的な発信	34	19	11	64
合計	621	384	179	1184

【考察】

アンケート全体の回答率が高い順は「癒し効果のある施設の充実」「ウォーキングコース等の環境整備」、続いて同数で「グリーンツーリズムの推進」「観光ルートの設定」であった。
羽合地区、泊地区では「癒し効果のある施設の充実」、東郷地区では「ウォーキングコース等の環境整備」と回答した方が1番多かった。

17.雇用対策について、今後どのような取り組みが必要か。

*2つまで回答可

	羽合地区	東郷地区	泊地区	合計
1 若年者の就労支援充実	195	120	56	371
2 氷河期世代への就労支援	46	17	7	70
3 高齢者の就労支援	84	62	21	167
4 障がい者の就労支援	26	17	9	52
5 女性の就労支援	63	29	13	105
6 求人・求職情報提供の充実	42	23	10	75
7 求職者向け就職支援講座の充実	7	3	0	10
8 職業体験や職業観の醸成	55	38	13	106
9 職業人としての能力向上の支援	35	35	18	88
10 町内での雇用機会拡大推進	50	34	23	107
11 その他自由記載	2	5	1	8
合計	605	383	171	1159

【考察】

アンケート全体の回答率が高い順は「若年層の就労支援充実」「高齢者の就労支援」「町内での雇用促進」であった。
全地区で「若年層の就労支援充実」と回答した方が1番多かった。

18.買い物において不便や不安に感じていることはあるか。

(複数回答があったため総数と合わない)

	羽合地区	東郷地区	泊地区	合計
1 近くに店がない	33	66	62	161
2 近くの店は品ぞろえが不足	21	29	12	62
3 交通の便が悪い	29	26	6	61
4 自分で運転ができない	14	5	3	22
5 買い物を頼む知人がいない	2	2	2	6
6 特に不便や不安は感じない	237	103	25	365
7 その他 自由記載	10	3	4	17
合計	346	234	114	694

【考察】

アンケート全体の回答率が高い順は「特に不便や不安は感じない」「近くにお店がない」、続いて同数で「近くの店は品ぞろえが悪い」、「交通の便が悪い」であった。
羽合地区、東郷地区では「特に不便や不安は感じない」、泊地区では「近くにお店がない」と回答した方が1番多かった。

19.どのような手段で外出しているか。

	羽合地区	東郷地区	泊地区	合計
1 自分で車やバイクを運転	266	182	84	532
2 家族や知人の車で外出	34	26	12	72
3 公共交通機関を利用	5	7	6	18
4 タクシーを利用	5	2	1	8
5 社協の乗り合いバスを利用	0	0	0	0
6 徒歩や自転車以外	23	3	1	27
7 その他 自由記載	6	1	0	7
合計	339	221	104	664

【考察】

アンケート全体の回答率が高い順は「自分で車やバイクを運転している」「家族や知人の車で外出」「徒歩・自転車以外」であった。全地区で「自分で運転している」と回答した方が1番多かった。

20. 今後、移動手段の確保に関する取組をどう進めるべきか。

*2つまで回答可

	羽合地区	東郷地区	泊地区	合計
1 高齢者定期券購入費助成事業の継続	113	50	42	205
2 デマンド型の乗り合いタクシーの導入	126	92	37	255
3 交通不便地域の高齢者へタクシー費助成	87	76	22	185
4 共助による交通手段の確保	70	46	22	138
5 バス待ち環境の改善	43	20	6	69
6 徒歩・自転車で外出	23	20	6	49
7 公共交通の情報提供	18	14	5	37
8 バス事業者への赤字部分助成	71	41	21	133
9 町はバス事業者への助成をしない	23	17	9	49
10 その他自由記載	15	8	9	32
合計	589	384	179	1152

【考察】

アンケート全体の回答率が高い順は「デマンド型乗合タクシーの導入」「高齢者定期券購入費助成事業の継続」「交通不便地域の高齢者へタクシー費助成」であった。羽合地区、東郷地区では「デマンド型乗合タクシーの導入」、泊地区では「高齢者定期券購入費助成事業の継続」と回答した方が1番多かった。

21. ゆとりある生活・住宅環境を実現するためには、どのような取り組みが必要か。

*2つまで回答可

	羽合地区	東郷地区	泊地区	合計
1 町営県営住宅の増設	31	21	16	68
2 高齢者・障がい者住宅の増改築に対する支援	114	75	29	218
3 耐震診断、耐震補強に係る制度の充実	65	41	19	125
4 持ち家の購入、増改築などの融資制度の充実	77	53	31	161
5 新増築などに対する総合的な相談窓口	39	20	7	66
6 自然環境への配慮	74	40	12	126
7 防災対策の充実	127	88	34	249
8 現行のままでいい	27	15	9	51
9 その他 自由記載	13	5	7	25
合計	567	358	164	1089

【考察】

アンケート全体の回答率が高い順は「防災対策の充実」「高齢者・障がい者住宅の増築に対する支援」「持ち家の購入、増改築などの融資制度の充実」であった。全地区で「防災対策の充実」と回答した方が1番多かった。

22. 日ごろから、ごみの減量や資源化に取り組んでいるか。

*2つまで回答可

	羽合地区	東郷地区	泊地区	合計
1 不要なものは買わない	99	63	33	195
2 マイバグの持参や過剰包装の拒否	109	77	36	222
3 詰め替え可能な商品を選択	146	80	39	265
4 再生品を優先して選択	18	10	5	33
5 壊れたり故障したものはできるだけ修理	30	23	7	60
6 不用品は他人に譲ったり、バザーへ	22	9	2	33
7 資源の分別の徹底やごみ出しのルール徹底	167	117	54	338
8 コンポストや生ごみ処理機を利用	22	22	5	49
9 生ごみの水切りを徹底	17	6	7	30
10 何も取り組んでいない	3	3	4	10
11 その他 自由記載	0	4	0	4
合計	633	414	192	1239

【考察】

アンケート全体の回答率が高い順は「資源の分別の徹底やごみ出しのルール徹底」「詰め替え可能な商品を選択」「マイバグの持参や過剰包装の拒否」であった。全地区で「資源の分別等のルールを守る」と回答した方が1番多かった。

23.防災対策について、今後どのような取り組みが必要か*2つまで回答可

	羽合地区	東郷地区	泊地区	合計
1 防火・防災意識の啓発活動の充実	59	40	21	120
2 防災施設(避難場所や消火栓など)の整備充実	63	47	11	121
3 避難所に備える食料・水・簡易トイレなどの十分な確保	115	62	30	207
4 自主防災組織の充実	42	34	19	95
5 一人で避難することが困難な町民への対策の充実	85	59	27	171
6 災害時に家族などの安否確認が行えるシステムづくり	63	36	14	113
7 災害時の情報連絡体制の充実	60	40	23	123
8 河川など災害発生危険個所の整備	73	55	16	144
9 湯梨浜町防災マップの町民への普及と活用	54	30	13	97
10 その他	7	3	4	14
合計	621	406	178	1205

【考察】

アンケート全体の回答率が高い順は「避難所に備える食料・水・簡易トイレなどの十分な確保」「一人で避難することが困難な町民への対策の充実」「河川など災害発生危険個所の設備」であった。

全地区で「避難所に備える食料・水・簡易トイレなどの十分な確保」と回答した方が1番多かった。

24.今後、高齢化社会においてどのようなことが重要になると思うか。*2つまで回答可

	羽合地区	東郷地区	泊地区	合計
1 生涯学習の充実	81	38	17	136
2 身近な相談窓口の充実	52	37	13	102
3 高齢者が外出しやすいまちづくりの推進	106	70	42	218
4 ボランティア等の社会参加の推進	34	18	6	58
5 生涯にわたる健康づくりの推進	83	54	26	163
6 介護保険サービスの充実等	123	76	42	241
7 能力や経験を発揮できる就労対策の推進	76	35	22	133
8 防犯、交通安全対策推進	55	59	14	128
9 その他 自由記載	5	3	1	9
合計	615	390	183	1188

【考察】

アンケート全体の回答率が高い順は「介護保険サービスの充実等」「高齢者が外出しやすいまちづくりの推進」「生涯にわたる健康づくりの推進」であった。

全地区で「介護保険サービスの充実等」と回答した方が1番多かった。

25.介護予防に関して、どのような取り組みが必要か。 *2つまで回答可

	羽合地区	東郷地区	泊地区	合計
1 啓発事業の充実	26	24	5	55
2 身近な相談窓口の充実	101	54	34	189
3 介護予防を必要とする人の早期発見の取組	95	100	47	242
4 運動機能や口腔機能の向上などを目的とした事業実施	83	41	24	148
5 閉じこもり症等の予防を目的とした事業実施	153	88	29	270
6 介護予防の活動のための場所の確保	54	34	11	99
7 介護予防に関するボランティアなどの人材育成	71	33	22	126
8 その他 自由記載	8	4	3	15
合計	591	378	175	1144

【考察】

アンケート全体の回答率が高い順は「閉じこもり症等の予防を目的とした事業実施」「介護予防を必要とする人の早期発見」「身近な相談窓口の充実」であった。
羽合地区では「閉じこもり症等の予防を目的とした事業実施」、東郷地区、泊地区では「介護予防を必要とする人の早期発見」と回答した方が1番多かった。

26.障がいのある人もない人も、誰もが共に生きる社会をつくるには何が必要か。 *2つまで回答可

	羽合地区	東郷地区	泊地区	合計
1 福祉サービスの充実	150	107	51	308
2 普及啓発や学校教育の推進	88	56	26	170
3 バリアフリー環境の整備	98	72	24	194
4 住宅やグループホームの整備	62	29	15	106
5 就労の援助や雇用の促進	127	69	33	229
6 スポーツ・レクリエーション・文化活動の充実	37	27	7	71
7 ボランティアなど人材育成推進	31	24	11	66
8 その他 自由記載	5	5	3	13
合計	598	389	170	1157

【考察】

アンケート全体の回答率が高い順は「福祉サービスの充実」「就労の援助や雇用の促進」「バリアフリー環境の整備」であった。
全地区で「福祉サービスの充実」と回答した方が1番多かった。

27.町民の健康のために、どのような取り組みが必要か。 *2つまで回答可

	羽合地区	東郷地区	泊地区	合計
1 町民と行政が一緒に取り組む健康づくり事業	102	64	35	201
2.指導者や組織の育成	54	31	12	97
3.健診の充実	113	87	45	245
4.心身の健康などについて学べる教育事業の充実	29	15	6	50
5.育児・健康医療などに関する健康相談の充実	42	11	7	60
6.難病・心の病気に関する相談事業の充実	39	21	10	70
7.歯科保健に関する啓発事業の充実	20	7	6	33
8.病気に関する予防対策の充実	81	75	14	170
9.正確な情報提供	53	44	19	116
10.健康づくりの拠点となる施設の整備	55	25	12	92
11.専門機関との連携	15	4	1	20
12.その他	9	6	5	20
合計	612	390	172	1174

【考察】

アンケート全体の回答率が高い順は「健診の充実」「町民と行政が一緒に取り組む健康づくり事業」「病気に関する予防対策の充実」であった。
全地区で「健診の充実」と回答した方が1番多かった。

28.地域活動・ボランティア活動について

(1)自身の参加状況と今後の参加意思について

	羽合地区	東郷地区	泊地区	合計
1.現在も参加しているし、今後も参加したい	87	67	34	188
2.現在参加はしていないが、今後は参加した	104	44	24	172
3.現在参加しているが、今後は参加しない	6	8	4	18
4.現在も参加していないし、今後も参加しない	124	83	34	241
5.未回答	24	22	8	54
合計	345	224	104	673

【考察】

アンケート全体の回答率が高い順は「現在も参加していないし、今後も参加しない」「現在も参加しているし、今後も参加したい」「現在参加はしていないが、今後は参加した」であった。
全地区で「現在も参加していないし、今後も参加しない」と回答した方が1番多かった。

(2)今後、どのような活動に参加したいと思うか。

*3つまで回答可

	羽合地区	東郷地区	泊地区	合計
1.自治会などの活動	76	64	25	165
2.自然保護などの活動	64	39	20	123
3.高齢者クラブ・女性団体・子ども会などの活動	46	22	9	77
4.子育て支援・青少年の健全育成に関する活動	23	19	12	54
5.教育・文化・スポーツ活動の指導などに関する活動	31	22	14	67
6.伝統芸能の保全に関する活動	15	7	6	28
7.福祉に関する活動	30	12	10	52
8.保険・医療に関する活動	8	4	2	14
9.寄付や募金などに関する活動	8	2	0	10
10.地域づくり・まちおこしに関する活動	57	25	24	106
11.自主防災・災害援助に関する活動	30	13	6	49
12.防犯に関する活動	8	5	2	15
13.国際交流などに関する活動	16	3	3	22
14.その他	2	0	1	3
合計	414	237	134	785

【考察】

アンケート全体の回答率が高い順は「自治会などの活動」「自然保護などの活動」「地域づくり・まちおこしに関する活動」であった。
全地区で「自治会などの活動」と回答した方が1番多かった。

29これからのまちづくりは、より多くの住民の皆さんが町政に参画して、課題解決や地域づくりを行う「住民参画・協働のまちづくり」が重要なテーマとなります。あなたは、この「住民参画・協働のまちづくり」を進めるためには、行政に何が必要だと思いますか。

*2つまで回答可

	羽合地区	東郷地区	泊地区	合計
1. 迅速的確な行政情報の提供・公開のための、広報活動の充実	93	72	34	199
2. できるだけ多くの住民の意見や要望を聞くための、広聴活動の充実	107	61	28	196
3. 講座や教室の開催等を通じた、まちづくりに関する学習機会の提供	22	18	14	54
4. 地域活動・ボランティア活動を活性化するための仕組みづくり	65	46	12	123
5. 各種行政計画策定の際の審議会委員の一般公募、パブリックコメントの充実	32	18	9	59
6. 新たなまちづくりの担い手としてのNPO等の育成・支援	43	27	8	78
7. 親子で学ぶまちづくり講座の設置、地域行事参加への促進	40	23	7	70
8. 子どもや若者が積極的にまちづくりに参画できるような機会の提供	143	84	39	266
9. 住民参画・協働のまちづくりは必要ではない	5	0	0	5
10. その他	3	8	2	13
合計	553	357	153	1063

【考察】

アンケート全体の回答率が高い順は「若い世代が積極的にまちづくりに参加できるような機会の提供」「迅速的確な行政情報の提供・公開のための、広報活動の充実」「住民の意見・要望を聞くための広聴活動の充実」であった。
全地区で「若い世代が積極的にまちづくりに参加できるような機会の提供」と回答した方が1番多かった。